(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2010-17283
(P2010-17283A)
(43)公開日　平成22年1月28日(2010.1.28)

(51) Int.Cl.	F I		テーマコード（参考）
A47G 9/02 (2006.01)	A47G 9/02	Q	3B102

審査請求 有　請求項の数 5　OL　（全 5 頁）

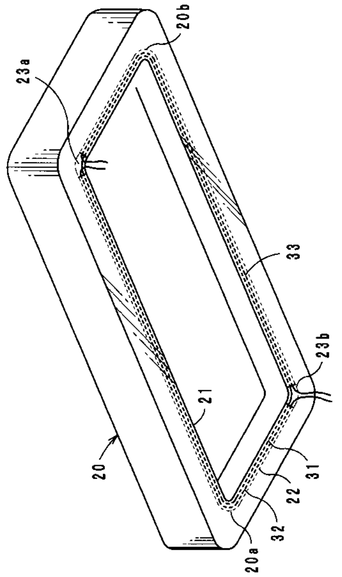
(21)出願番号　特願2008-178929 (P2008-178929)
(22)出願日　平成20年7月9日 (2008.7.9)

(71)出願人　397026229
株式会社サンモト
山梨県都留市下谷三丁目７番２６号
(74)代理人　100091432
弁理士　森下　武一
(74)代理人　100124729
弁理士　谷　和紘
(72)発明者　宮下　治二郎
山梨県都留市下谷三丁目７番２６号　株式会社サンモト内

Fターム(参考)　3B102 BA14

(54)【発明の名称】ベッド用シーツ

(57)【要約】
【課題】就寝時にずれたり皺になることなく、ベッド用マットレスに装着することのできるベッド用シーツを得る。
【解決手段】ベッド用マットレスに被せるためのベッド用シーツ。ベッド用マットレスの裏面側に位置する開口縁部２１の全周にわたって紐通し用袋部２２が形成されており、該紐通し用袋部２２には伸縮性締付け部材３１と非伸縮性締付け部材３２，３３とが挿通されている。紐通し用袋部２２の対角線上の２箇所には開口部２３ａ，２３ｂが形成されており、非伸縮性締付け部材３２，３３の両端が該開口部２３ａ，２３ｂから外部に引き出されている。
【選択図】図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ベッド用マットレスに被せるためのベッド用シーツであって、
　ベッド用マットレスの裏面側に位置する開口縁部の全周にわたって紐通し用袋部が形成されており、
　前記紐通し用袋部には伸縮性締付け部材と非伸縮性締付け部材とが挿通されており、
　前記紐通し用袋部の少なくとも１箇所には開口部が形成されており、
　前記非伸縮性締付け部材の両端が前記開口部から外部に引き出されていること、
　を特徴とするベッド用シーツ。
【請求項２】
　前記開口部は前記紐通し用袋部の対角線上に２箇所に形成されており、
　第１及び第２の非伸縮性締付け部材が、それぞれ、２箇所の開口部から互いに対向する対角線上の隅部を回り込んで紐通し用袋部に挿通されていること、
　を特徴とする請求項１に記載のベッド用シーツ。
【請求項３】
　前記非伸縮性締付け部材の両端を締結するための締結具を備えたことを特徴とする請求項１又は請求項２に記載のベッド用シーツ。
【請求項４】
　前記紐通し用袋部は１重に形成され、該紐通し用袋部に前記伸縮性締付け部材及び前記非伸縮性締付け部材が隣接して挿通されていること、を特徴とする請求項１、請求項２又は請求項３に記載のベッド用シーツ。
【請求項５】
　前記紐通し用袋部は２重に形成され、それぞれの紐通し用袋部に前記伸縮性締付け部材及び前記非伸縮性締付け部材が単独に挿通されていること、を特徴とする請求項１、請求項２又は請求項３に記載のベッド用シーツ。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
　本発明は、ベッド用シーツ、特に、ベッド用マットレスに被せるためのベッド用シーツに関する。
【背景技術】
【０００２】
　従来、ベッド用シーツとしては、例えば、特許文献１に記載されているように、ボックスタイプであって、ベッド用マットレスに被せ、該マットレスの裏面側に位置する開口縁部の全周に設けたゴム紐によって締め付けていた。
【０００３】
　しかしながら、ベッド用シーツの縁部をゴム紐によって締め付けるだけでは、締付け力が弱く、就寝時に背中が当たる部分が皺になったり、ずれたりし、寝心地が悪いという問題点を有していた。
【特許文献１】特開平１０-２８６１６０号公報
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
　そこで、本発明の目的は、就寝時にずれたり皺になることなく、ベッド用マットレスに装着することのできるベッド用シーツを提供することにある。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
　以上の目的を達成するため、本発明は、
　ベッド用マットレスに被せるためのベッド用シーツであって、
　ベッド用マットレスの裏面側に位置する開口縁部の全周にわたって紐通し用袋部が形成

されており、
前記紐通し用袋部には伸縮性締付け部材と非伸縮性締付け部材とが挿通されており、
前記紐通し用袋部の少なくとも１箇所には開口部が形成されており、
前記非伸縮性締付け部材の両端が前記開口部から外部に引き出されていること、
を特徴とする。

【０００６】
本発明に係るベッド用シーツは、シーツの開口縁部の全周にわたって設けた非伸縮性締付け部材の両端を締結することによって、ベッド用マットレスにずれたりすることなくピンと張った状態で装着される。即ち、シーツの開口縁部の全周にわたって設けた伸縮性締付け部材によってベッド用マットレスに作業性よく装着することができ、しかも、非伸縮性締付け部材の両端を締結することでずれを防止することができ、寝心地が格段に向上する。また、シーツがピンと張られており、見た目に奇麗で高級感が醸し出される。

【０００７】
本発明に係るベッド用シーツにおいて、前記非伸縮性締付け部材の両端を締結するための締結具を備えていてもよい。

【０００８】
前記紐通し用袋部は１重に形成され、該紐通し用袋部に伸縮性締付け部材及び非伸縮性締付け部材が隣接して挿通されていてもよい。あるいは、前記紐通し用袋部は２重に形成され、それぞれの紐通し用袋部に伸縮性締付け部材及び非伸縮性締付け部材が単独に挿通されていてもよい。

【発明を実施するための最良の形態】

【０００９】
以下、本発明に係るベッド用シーツの実施例について、添付図面を参照して説明する。

【００１０】
図１に、本発明に係るベッド用シーツの一実施例を備えたベッドを示す。このベッドは、ベッド本体１０と、ベッド用マットレス１５と、ベッド用シーツ２０とで構成されている。ベッド本体１０とベッド用マットレス１５とは、いずれも従来から周知のものである。

【００１１】
ベッド用シーツ２０は、布地をボックスタイプに縫製したもので、その全体構成を図２に拡大して示し、縁部の詳細を図３に拡大して示す。開口縁部２１は、ベッド用マットレス１５に装着した際に該マットレス１５の裏面側に位置する部分である。開口縁部２１にはその全周にわたって紐通し用袋部２２が形成されている。この紐通し用袋部２２は、第１例としては、図３（Ａ）に示すように、１重に形成されている。

【００１２】
前記紐通し用袋部２２には、１本の無端状とされた伸縮性締付け部材３１（例えば、ゴム紐）と、２本の非伸縮性締付け部材３２，３３（例えば、伸縮力の小さい紐）とが、隣接して挿通されている。

【００１３】
さらに、紐通し用袋部２２には対角線上の２箇所に開口部２３ａ，２３ｂが形成されている。２本の非伸縮性締付け部材３２，３３は、それぞれ、開口部２３ａ，２３ｂから互いに対向する対角線上の隅部２０ａ，２０ｂを回り込んで紐通し用袋部２２に挿通されている。そして、２本の非伸縮性締付け部材３２，３３の両端は開口部２３ａ，２３ｂから外部に引き出されている。

【００１４】
以上の構成からなるベッド用シーツ２０は、通常のシーツと同様に、伸縮性締付け部材３１の弾性を利用して、ベッド用マットレス１５に被せる。その後、非伸縮性締付け部材３２，３３の開口部２３ａ，２３ｂから引き出されているそれぞれの両端を締結する。非伸縮性締付け部材３２，３３は緩むことがなく、これにて、シーツ２０がピンと張られ、就寝することで背中が当たる部分がずれたり、皺になることがなく、寝心地が格段に向上

する。また、シーツ２０がピンと張られているので、見た目に奇麗で高級感が醸し出される。

【００１５】

非伸縮性締付け部材３２，３３の両端を締結するには、図４に示すように、二つの穴４１，４１を形成した締結具４０を用いてもよい。この締結具４０は、周知のもので、非伸縮性締付け部材３２，３３の両端を穴４１，４１にそれぞれ挿通させることで、摩擦力により締結する。勿論、この締結具４０以外の種々の締結具を用いることができる。

【００１６】

また、図３（Ｂ）に示すように、ベッド用シーツ２０の開口縁部２１に、紐通し用袋部２２ａ，２２ｂを２重に形成し、袋部２２ａには伸縮性締付け部材３１を挿通し、袋部２２ｂには非伸縮性締付け部材３２，３３を挿通するようにしてもよい。この場合、袋部２２ｂには非伸縮性締付け部材３２，３３の両端を引き出すための開口部が形成されていることは勿論である。

【００１７】

なお、本発明に係るベッド用シーツは前記実施例に限定するものではなく、その要旨の範囲内で種々に変更することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１８】

【図１】本発明に係るベッド用シーツの一実施例を備えたベッドを示す分解斜視図であり、ベッド用シーツのみ下方から見た状態で描かれている。

【図２】ベッド用シーツの拡大斜視図である。

【図３】（Ａ），（Ｂ）それぞれベッド用シーツの開口縁部を示す拡大断面図である。

【図４】非伸縮性締付け部材の締結具を示す斜視図である。

【符号の説明】

【００１９】

１０…ベッド本体

１５…ベッド用マットレス

２０…ベッド用シーツ

２１…開口縁部

２２…紐通し用袋部

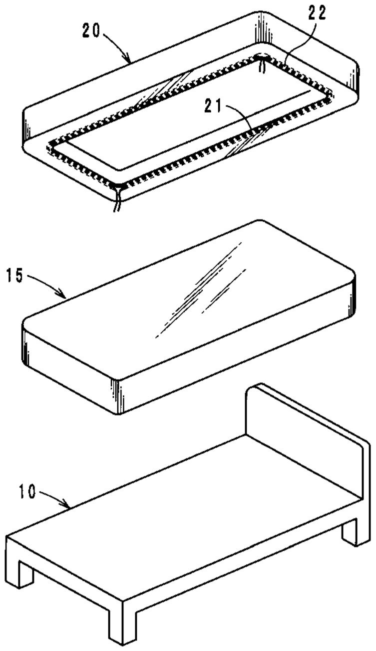
２３ａ，２３ｂ…開口部

３１…伸縮性締付け部材

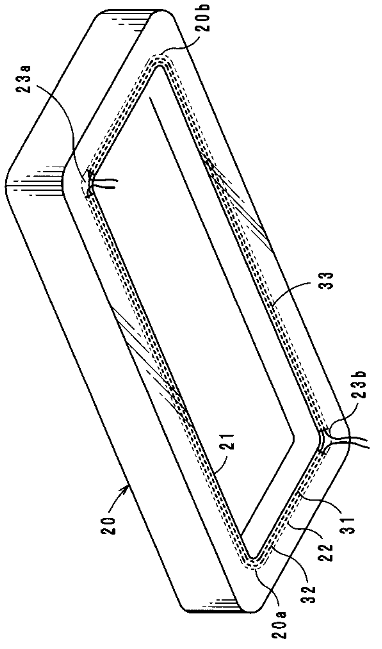
３２，３３…非伸縮性締付け部材

４０…締結具

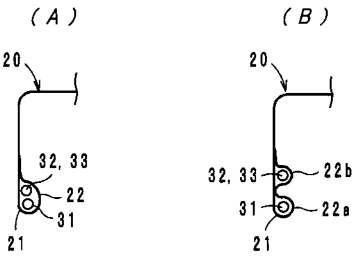
【図１】


20
22
21
15
10

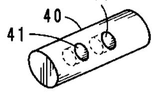
【図２】


20b
23a
33
23b
21
31
22
32
20a
20

【図３】


(A)
(B)
20
32, 33
22
31
21
20
32, 33
22b
31
22a
21

【図４】


41
40
41